

2024～2025年度 小倉中央ロータリークラブ週報



例会日 月曜日 12:30～13:30
 例会場 リーガロイヤルホテル小倉
 事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F
 TEL 093-531-4015
 FAX 093-531-1022

第1360回 例会 12月9日(月)

本日の例会 年次総会
 ローター情報委員会 湯口 義博 委員長

会長の時間 (12月2日 1359回 例会記録) 河野会長

出席報告 12月2日

本日はカオスあふれる国、インド、聖地バラナシからのお話です。
 インド人にとって聖なるガンジス河で沐浴することは、重要な宗教的な意義を持ちます。今までの自分の罪を洗い清めてくれると、老いも若きもみな沐浴をしています。そして、死後、その灰をガンジス川に流せば輪廻転生の苦しみから解放されると信じられているそうです。江戸時代のお伊勢参りのような、一生に一度はこの聖なる川を訪れたい、その川のほとりで一番有名なのが私が訪れたバラナシと言う街でした。
 沐浴をしている人々のすぐそばでは死体が焼かれています。奇麗に焼かれた死体ならまだしも火葬に使う薪代が十分に払えず、灰になっていない死体もあります。薪が無くなり火が消えると生焼けの死体もそのまま川に流されます。幼児や未婚の女性、感染症患者、なぜか蛇にかまれた人は火葬せず布に巻いて川に沈めるそうです。そのうちに浮いてきますが、ちなみにコロナ禍の時はガンジス川が大量の死体で溢れたそうです。
 日本人がこの川で沐浴をすると100%下痢になるそうで、私も今までの行いを洗い清めてもらいたかったですが、さすがに遠慮させていただきました。
 世界中を旅するバックパッカーから言われたことがあります、世界を旅して戸惑うことは多いけれどインドで受けたカルチャショックはそれまでの比じゃないと。
 ここバラナシはまさに生と死が隣り合った世界、しかし、彼らは死に対して決して暗くはありません。死者に向かって泣き叫ぶことなくただ見守っているだけです。その姿は死を日常の一部として受け入れているように感じます。
 この後、小さな手漕ぎボートに乗って対岸に渡りましたが、そこはバナラシの喧騒を忘れてしまうような草一本生えていない死の世界、いまだに理由はわかりませんが、そこはインド人にとって不浄の地なのでしょう。
 バラナシに戻る途中、舟をこぐ少年からインドに来てマリファナは吸ったかと聞かれました。日本では社会問題になっていますが、当時のインドでは日本のタバコ屋さんのような売店で煙草を売るようにマリファナが売られていました。吸ってないと言うと、10ルピーで分けてくれ、そのまま宿屋に帰り、心を落ち着け、葉っぱに火を付けたところ、モクモクと松の匂いのする煙が部屋中に充満します。真っ赤な偽物、少年にとっては、いいカモだったようです。
 ザックひとつで日本を旅立ったので着替えの服が無くなり、手元にあった日本から持ってきた週間プレーボーイの最初と最後のカラーのページを一冊のグラビアにして町の洋服屋に持って行くと店の主人が大喜び、このグラビアはいくらで譲ってくれると聞かれ、無事に洋服と交換できました。日本の女性は人気があるようです。これ以上話すとは危機管理委員長からイエローカードが出ますので、この話はここまで。バナラシを旅だった私はその後、パキスタン国境近くの町、ジャイサルメールへとバスで向かいます。
 次回はジャイサルメールのラクダ祭りの話をいたしましょう。

在籍会員数	43名
義務出席者	41名
ゲスト	1名
ビジター	0名
本日出席数	31名
本日出席率	75.60%
前々回修正出席率	86.04%

次回(12月16日)は、

会員増強 全体会議 Vol1 です。

12月のお誕生日

- 4日 熊野 康雄会員
- 9日 松田 直子会員
- 10日 森本 浩文会員
- 24日 樋上 弥寿子会員
- 28日 野村 真幸樹会員

今月の主な予定

- 2日(月) 定例理事会
親睦活動委員会
- 7日(土) IA 校内例会
- 14日(土) IA フォロアップ研修
イレブンの会
RLI ファシリテーター研修
- 18日(水) 二水会&忘年会

四つのテスト ～ 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

幹事報告

北垣幹事

・次週 12月9日(月)は、年次総会です。ご出席をお願いします。

・定例理事会報告

- ① 1月の定例理事会は、1月6日(月)18:30～開催します。場所は追って連絡します。
- ② 1月6日(月)の例会は、五大奉仕委員会の報告と下半期に向けての計画等を発表していただきますのでよろしくお願ひします。

卓話の時間

「ハラスメントの種類と対策」

地区危機管理委員会 委員長 豊瀬 敦 氏



本日は、「ハラスメントの種類と対策について」の卓話をさせていただきます。

皆さま、ご存知の通り、現在、多種多様なハラスメントがあります。ハラスメントの種類を把握することにより、起こり得る危機を回避することが、可能かと考えます。

また、どういった事例が、ハラスメントに該当するかを、クラブ内で共有することにより、クラブ内でのハラスメントは未然に防ぐことができると考えます。

さらに、ハラスメントのない環境をつくるのが大切であり、会合や親睦行事でハラスメントのない環境をつくるには、全会員の協力が必要とされます。

会長、幹事、各委員長をはじめとするクラブリーダー（委員長）は、会員と協力しながら、すべての人にとって安全で、礼儀と尊重を重んじる環境を維持しなければなりません。ハラスメントのない環境をつくるためのステップとしては、

- ① ハラスメントのない環境に関するロータリーの方針についてクラブ理事会で話し合い、この方針を会員に伝える方法を検討する。
- ② クラブ協議会（クラブ役員、理事、委員会委員長を含むクラブ会員全員の会合）でこの方針について話し合う。センシティブな話題となる可能性があるため、事前に話し合いのルールを決めておく。

（例：「自分の体験や感情を率直に話す」「不明な点があれば質問する」など）

- ③ 過去のハラスメントの事例を示し、そのような言動が容認されないことを会員に明確に伝える。
- ④ ハラスメントを一切容認しないというロータリーの姿勢を強調する。
- ⑤ ハラスメントが起きた場合に会員が声を挙げ、必要であれば警察やクラブ・地区の危機管理委員会に安心して報告できる環境を築く。
- ⑥ ハラスメントの報告があった場合にクラブと地区の危機管理委員会がどう対処するかを、会員に知らせておく。
- ⑦ ハラスメントのない環境づくりは全会員の責務であることを強調する。

すべての人が尊重される環境作りのために他に何ができるかを考えクラブ運営に取り組んでまいりましょう。ご清聴ありがとうございました。

ニコニコ献金報告

累計 271,000円

豊瀬様（行橋 RC）—卓話のお礼

河野・北垣・鍋島会員—豊瀬委員長、本日はどうぞよろしくお願い致します。

狩野会員—豊瀬委員長、ようこそ小倉中央 RC へ。地区ではよくお会いしていますがまた色々教えてください。

細川会員—豊瀬委員長、本日は卓話、よろしくお願ひします。所用で卓話が聞けずに申し訳ありません。

梶原会員—昨日「チャンピオンカップ」という G1 レースがありました。1着 2着 3着の結果が去年と全く同じでした。今年は三連単が約 18,000 円でしたが、昨年は 1,900,000 円でした。競馬っておもしろいですね。

鍋島会員—本日の開始前の音楽は、芳賀さん、安木さんのリクエストでオールディーズです。いかがでしたか？

合計 12,000円



祝お誕生日祝い—熊野康雄会員、森本浩文会員

樋上弥寿子会員

古川裕宣会員（11月でした(^-^;)）